

平成 28 年度 事務事業評価シート 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

| | | | | | | |
|---|--|---------|---------|-----------|--------------|----------|
| 会計 | 款 | 項 | 目 | 事業コード | 事業名 | |
| 一般 | 06 | 01 | 04 | 164230 | 優良乳用牛確保対策事業費 | |
| 総合計画 | 分野 しごと | | | | | |
| | 政策 | 1-1 | 農林業の振興 | | | |
| | 施策 | 1 | 農業生産の支援 | | | |
| 目的 | 酪農家の生乳生産基盤を強化するため、優良雌牛を効率的に確保する。 | | | | | |
| 対象 | 市内酪農家 | | | | | |
| 意図 | 優良な後継牛（雌牛）を効率的に確保するため乳用牛の雌雄判別精液利用に係る酪農家の経済的な負担軽減を図る。 | | | | | |
| 事業概要 | …上記目的を実現するための事業手法を記載すること | | | | | |
| 花巻市優良乳用牛等確保対策事業補助金 ○雌雄性判別精液を利用した場合に、ホルスタイン種1本当たり3,000円、ブラウンスイス種1本当たり3,000円を補助する。 （受胎率が未経産牛で約50%であるため、1頭につき2本まで補助対象とする。） | | | | | | |
| 市民参画の有無 [対象外] | | | | | | |
| 市民協働の形態 | | 共催 | | 実行委員会・協議会 | | |
| | | 後援・協賛 | | 事業協力・協定 | | |
| | | ○ 補助・助成 | | 委託 | | |
| 活動指標（上記「事業概要」に対応） | | 単位 | 区分 | 27年度(実績) | 28年度(実績) | 29年度(計画) |
| ① | ホルスタイン種雄雌性判別精液利用頭数（延べ） | 頭 | 計画 | 200 | 200 | |
| | | | 実績 | 112 | 91 | |
| ② | ブラウンスイス種雄雌性判別精液利用頭数（延べ） | 頭 | 計画 | 40 | 40 | |
| | | | 実績 | 9 | 4 | |
| ③ | | | 計画 | | | |
| | | | 実績 | | | |
| 成果指標（上記「意図」に対応） | | 単位 | 区分 | 27年度(実績) | 28年度(実績) | 29年度(計画) |
| ① | 生産乳量 | t | 目標 | 5,100 | 5,100 | |
| | | | 実績 | 5,143 | 5,219 | |
| ② | 乳用牛群検定牛の1頭当たりの乳量 | kg | 目標 | 9,000 | 9,000 | |
| | | | 実績 | 9,172 | 9,512 | |
| ③ | | | 目標 | | | |
| | | | 実績 | | | |
| 成果指標の達成度 | 目標値より高い | | ○ | 概ね目標値どおり | | 目標値より低い |

| | | |
|--|------------------------------|--|
| 成果指標の達成度の要因分析 （新規事業及び成果指標を変更した場合は、その成果指標を設定した考え方、目標値の根拠を記載） | | |
| 種付けをした牛の搾乳は翌年からとなるが、平成27年度の実績見込みより5,100 t とした。飼養頭数の維持や飼養管理方法の改善により生乳生産量の増加がみられた。 | | |
| 目的妥当性 | 公共関与の妥当性 | 花巻市の基幹産業である農業の一つである酪農の生産基盤を強化するため。 |
| | ○ 妥当である | |
| | 見直し余地がある 妥当でない | |
| 有効性 | 成果の向上余地 | 本事業により優良な後継牛（雌牛）の確保が可能となり、酪農家の収益性向上と経営の安定化につながる。 |
| | ○ 向上余地がある | |
| | 向上余地がない | |
| 効率性 | 事業費・人件費の削減余地 | 酪農家の経営の安定を図るために必要な事業であり、削減の余地はない。 |
| | 事業費の削減余地がある | |
| | 人件費の削減余地がある ○ どちらも削減余地がない | |
| 公平性 | 受益と負担の適正化余地 | 市内全酪農家を対象とするため公平である。 |
| | 受益機会の見直し余地がある | |
| | 費用負担の見直し余地がある ○ 適正である | |
| 総合評価 …上記評価結果の総括 | | |
| 雌雄性別精液は一般精液価格の2～3倍であるため、本事業の利用により農家負担の軽減や優良な後継牛（雌牛）の確保が図られ、酪農家の生産基盤強化につながった。 | | |

平成 28 年度 事業説明資料 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

| 会計 | 款 | 項 | 目 | 事業J-ト | 事業名 |
|----|----|----|----|--------|--------------|
| 一般 | 06 | 01 | 04 | 164230 | 優良乳用牛確保対策事業費 |

単位：千円

| | | 27年度 決算額(A) | 28年度 決算額(B) | 29年度 現計予算額 | 決算額前年比 (B-A) |
|------|------|----------------|----------------|---------------|-----------------|
| 事業費 | | 363 | 285 | | △ 78 |
| 財源内訳 | 国・県 | 333 | | | △ 333 |
| | 地方債 | | | | |
| | その他 | | | | |
| | 一般財源 | 30 | 285 | | 255 |

| | | | |
|------|-------|----------------------------|-----------------------|
| 事業期間 | 単年度繰返 | <input type="radio"/> 期間限定 | [平成 26 年度 ~ 平成 29 年度] |
|------|-------|----------------------------|-----------------------|

部重点施策における目標

農業の生産性を高めるとともに作業効率の向上を進める。

事業開始の背景・経緯

大震災の影響による飼料の変化やここ数年の猛暑に伴う個体ダメージ（乳量減や受胎率の減）がある。酪農家の生産基盤体制を強化するには、優良な後継牛（雌牛）の効率的な確保が必要であるが雌雄性判別精液価格は高額となり酪農家の負担がある。

事業概要

花巻市優良乳用牛等確保対策事業補助金
 ○雌雄性判別精液を利用した場合に、ホルスタイン種1本当たり3,000円、ブラウンスイス種1本当たり3,000円を補助する。
 （受胎率が未経産牛で約50%であるため、1頭につき2本まで補助対象とする。）

事業を展開する上での課題、留意事項 / 意見・要望等

雌雄性判別精液の受胎率は、未経産牛で約50%、経産牛で30~40%と低いことから、2回分の利用について補助する。

担当部署 部名 農林部 課名 農政課 担当係長 小原 慶悦 内線 6-290

(単位：千円)

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること。
 【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】

現状

- 大震災の影響による飼料変化、ここ数年の猛暑に伴う個体ダメージによる乳量の減
 農協（花巻管内） H22年度5,187トン/年⇒H26年度4,749トン/年（約8.5%の減）
- 酪農家の減少 農協（花巻管内）H22年度32戸（975頭）⇒H26年度23戸（836頭）
- 受胎率の低下 H元年 62%⇒H24 45%
- 円安に伴う輸入配合飼料価格の高騰 H22からH27.8月時点で約12千円/トンの増加
 輸入粗飼料価格の高騰 H22からH27.8月時点で約14千円/トンの増加
 一般精液 平均1.8千円（税別）/本
 雌雄性判別精液価格 平均6千円（税別）/本×1/2=3千円補助/本



事業実施した場合のメリット

- 一般精液に比べ高額な雌雄性判別精液を酪農家が利用しやすい環境が図られる。
- 効率的に高能力な雌牛を確保することによる乳量の確保⇒酪農家の収入増
- 夏場の受胎率低下を改善⇒効率的に乳量が確保できる。

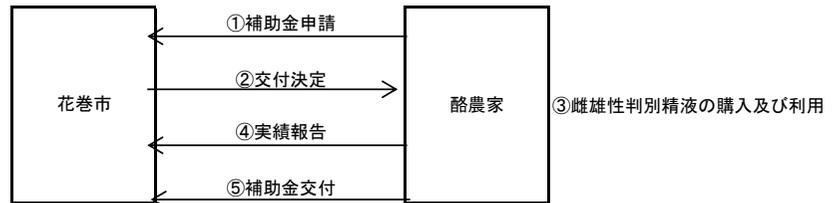
○ 雌雄性判別精液利用の場合

雌雄性判別精液を利用した場合に、1頭につき2本まで補助する。

ホルスタイン種 補助3,000円/本（1頭当たり2本まで）

ブラウンスイス種 補助金3,000円/本（1頭当たり2本まで）

補助対象は主に未経産牛への利用とするが、各牛の状況に応じて人工授精師が有効と判断した場合は、経産牛も補助対象とする。



実績内容

8経営体 95頭（述べ頭数） 285,000円